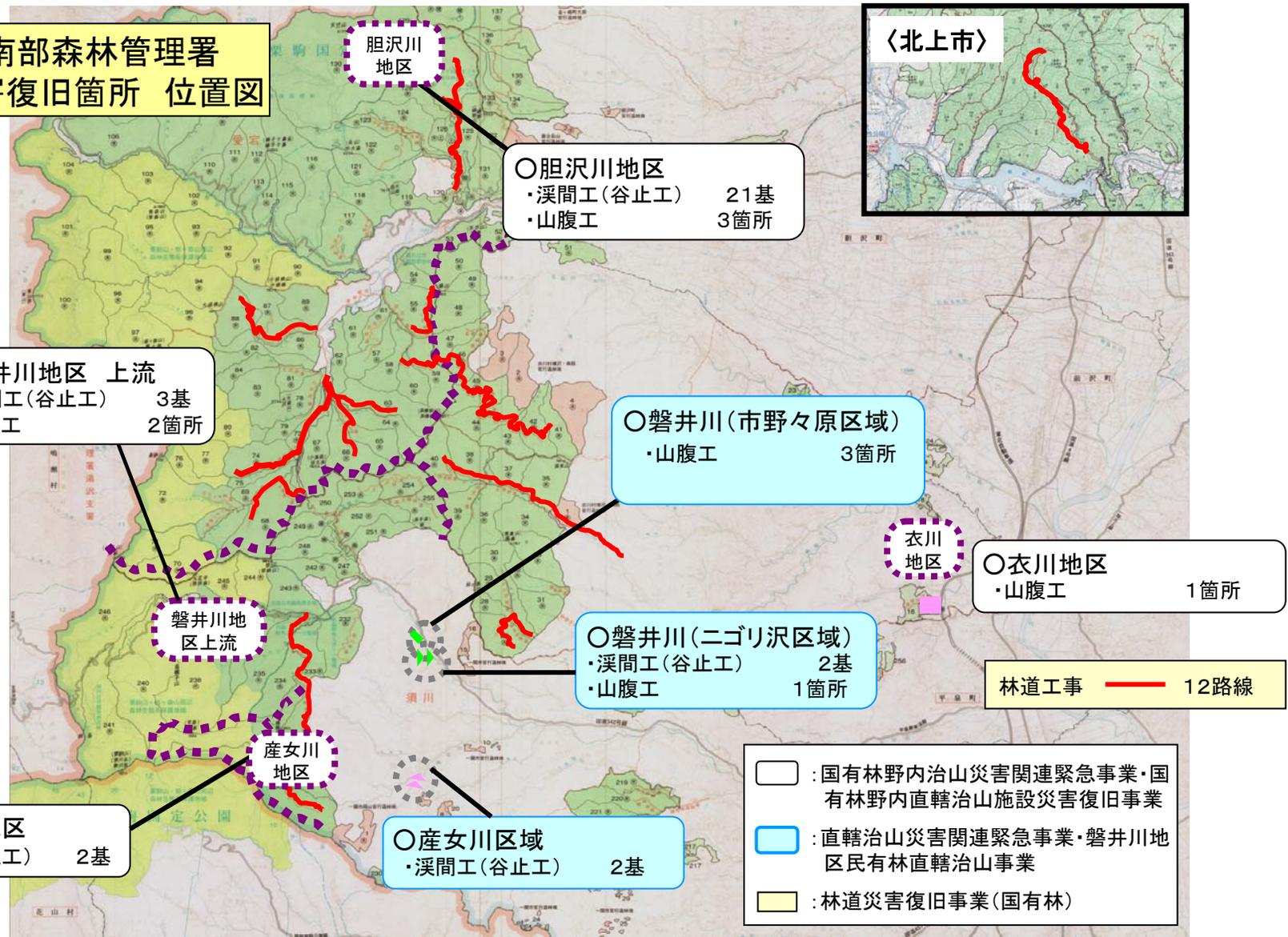
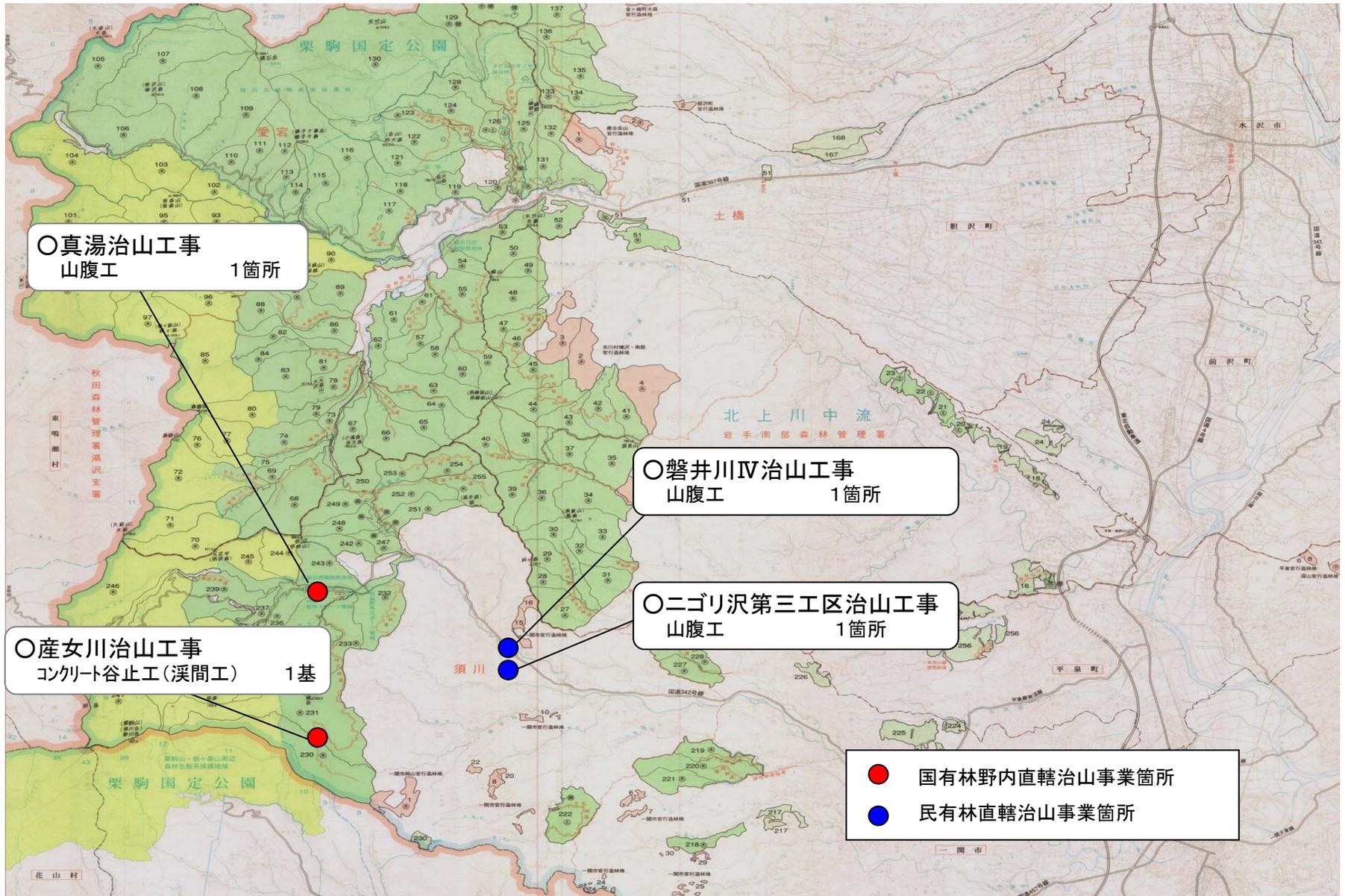


平成21年度末までに、国有林治山事業で溪間工40基、山腹工6箇所、民有林直轄治山事業で溪間工4基、山腹工4箇所、林道災害復旧事業で12路線を整備しました。

岩手南部森林管理署 主要災害復旧箇所 位置図



平成22年度は、国有林治山事業で溪間工1基、山腹工1箇所、民有林直轄治山事業で山腹工2箇所を整備します。



○真湯治山工事
山腹工 1箇所

○磐井川Ⅳ治山工事
山腹工 1箇所

○ニゴリ沢第三工区治山工事
山腹工 1箇所

○産女川治山工事
コンクリート谷止工(溪間工) 1基

- 国有林野内直轄治山事業箇所
- 民有林直轄治山事業箇所

被災地の復旧状況(溪間工)

【工事概況】

震災によって荒廃した溪流において溪床を安定させ溪岸浸食を防ぐ谷止工などにより、復旧対策を進めています。



産女川上流部の荒廃状況
(平成21年10月13日)

【平成21年度までに完成した代表的な工事】

(産女地区
産女川上流)



セルダム

(産女地区
産女川上流)



コンクリート谷止工

【平成22年度の代表的な工事予定箇所】

(産女川地区)
平成23年度完成予定
(新規工事)

6月4日入札予定



産女川ダム工施工箇所

(胆沢川地区
荒沢)



鉄製谷止工

被災地の復旧状況(山腹工)

【工事概況】斜面の安定を図る山腹工を行っています。

【平成22年度の代表的な工事予定箇所】

(磐井川地区
市野々原)

不安定な土砂の移動を防ぐ土留工、緑化によって斜面の浸食を防ぐ山腹緑化工を行います。



□H22年度予定箇所



工事の現況

工区最下部の鋼製自在枠土留工に着手しています。

排土の完了した工区上部に植栽をしていきます。

(真湯地区)

落石を防止するため石を除去し緑化を行います。

工事の現況

重機搬入路を設置しました。



(ニゴリ沢区域 磐井川)

不安定な斜面を安定させるため吹付砕工を行いました。

工事の現況

排土工を進め、土留工に着手しています。



【平成21年度までに完成した代表的な工事】

(胆沢川地区 前川)

不安定な土砂の移動を防ぐ土留工、緑化によって斜面の浸食を防ぐ山腹緑化工を行いました。



(衣川地区 月山)

不安定な斜面を安定させるため山腹緑化工を行いました。



林道の復旧状況

【工事概況】

地震災害のあった林道については、21年度までに全て工事を終了しています。

【平成21年度までに復旧した林道】

(桂沢林道)



(尿前林道)



現地調査の結果



- ・磐井川・産女川・胆沢川 各地区に設置した土石流センサー、監視カメラからの情報では、現地の異状は確認されていません。(平成21年3月13日12:00現在)
- ・市野々原・磐井川・産女川・胆沢川・衣川の各地区の現地調査(平成21年3月12日)を実施しましたが、前回に比べ、被害の拡大は確認されませんでした。
- ・平成20年12月20日 第8回山地災害対策検討会を開催しました。
市野々原地区地すべりについての対策を含め、岩手・宮城内陸地震による山地災害に係る治山計画のとりまとめが行われました。※山地災害対策検討会の資料等については、東北森林管理局のホームページ(<http://www.rinya.maff.go.jp/tohoku/koho/saigaijoho/kyoku/kentokai/index.html>)をご覧ください。

安全管理体制の充実



- 【岩手南部森林管理署管内震災現場安全対策協議会】
復旧工事現場の連絡・調整及び安全衛生活動を実施するため、流域ごとに請負業者による安全対策協議会を設立しました。(5流域)
- ・平成21年4月10日に全体会議及び分科会を開催しました。

技術研修会での発表



- 【岩手・宮城内陸地震災害復旧技術研修会】
地震発生から1年経過した平成21年6月18日一関文化センターにおいて、大学教授、林野庁、国土交通省、岩手県等から震災復旧状況について講演がありました。
岩手南部森林管理署では次長が「岩手・宮城内陸地震で行った岩手南部森林管理署の対応について」と題して約400名の参加者の前で講演しました。